

★10月の休館日：7日(月)、8日(火)、15日(火)、21日(月)、28日(月)



プラネタリウム番組のご案内

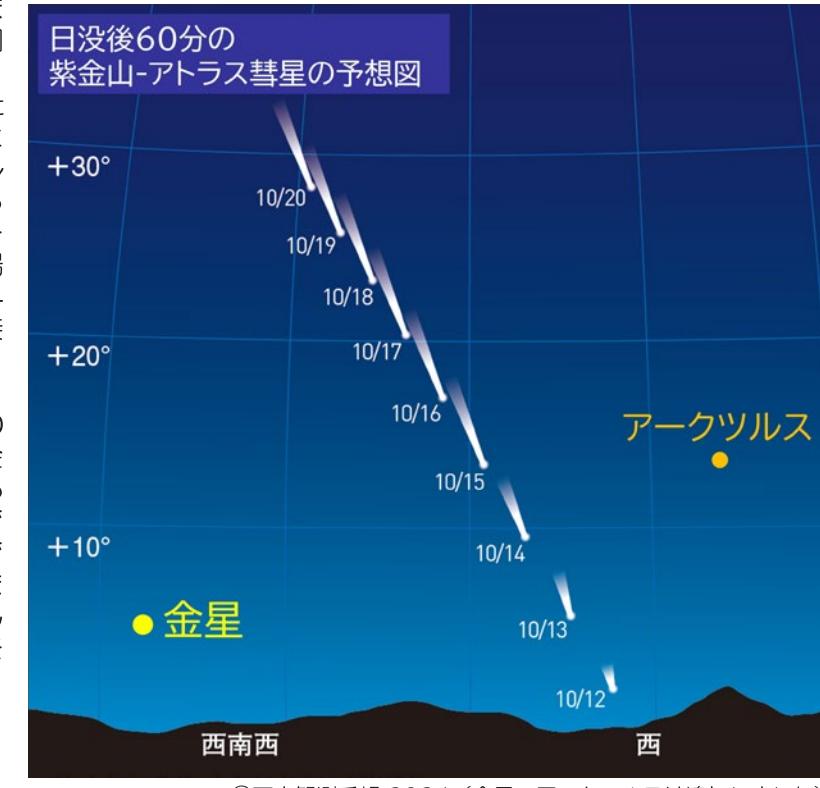
10月の一般投影 宇宙の旅人・ほうき星

彗星は、主に氷と塵でできた汚れた雪玉のような天体です。太陽から遠く離れた太陽系の外縁部から、太陽や地球の近くにやってくる、太陽系の旅人のような天体です。太陽に近づくと表面が温められて揮発性の成分がガスとなって吹き出し、本体のまわりにコマと呼ばれる大気をつくって明るく輝き始めます。また、氷が溶けだすことでチリ(ダスト)をまき散らします。ガスを作るイオンの尾とダストの尾の2つの尾を引いた姿から、ほうき(箒)星とも呼ばれます。

2024年10月、紫金山(ツーチンシャン)-アトラス彗星(C/2023A3)が地球に近づき、尾を引き明るくなった姿を日々後の西空で楽しめるのでは、と期待が高まっています。紫金山-アトラス彗星は、2023年1月9日に中国の紫金山天文台で発見され、同年2月22日に南アフリカのATLAS望遠鏡(Asteroid-Terrestrial-impact Last Alert System: 地球衝突小惑星の発見を目的とした自動観測プロジェクト)で独立に検出されました。こうした経緯で西方の観測所の名前から名づけられました。太陽系の果てにある彗星の巣とされるオールトの雲からやってきたと考えられ、今回初めて太陽に接近する彗星です。太陽に最も接近するのは2024年9月27日で、距離は0.391天文単位、地球に最接近するのは、2024年10月12日(0.47天文単位)です。

観察しやすくなるのは、夕方の西空に位置する10月12日以降です。13日、14日には、宵の明星・金星と同じ高度に見えるため、金星を見印に探してみるのもいいでしょう。望遠鏡や双眼鏡などの観測道具では、ぼんやりした姿や尾が伸びた様子を観察できるでしょう。とても明るくなれば肉眼で見えるかもしれません。どのくらいの明るさになるのかわかりませんが、わからないからこそ、期待とともに、ぜひ注目をしていただきたい天体です。

※天文単位：地球と太陽の間の平均距離にあたる
(約1億5000万km)



キッズ プラネタリウム

★幼児や小学校低学年を対象とした子ども向けプラネタリウムです。

☆~10/31(木)☆
平日9:50~/11:10~ 土日祝11:10~/14:30~
※平日は団体予約がある時のみ

おつきみアワー

身近な月についてお話しします。当館のねずみのキャラクター「ちよろすけ」も登場し、一緒に月旅行をします。また、季節の星座や日本に伝わる月の昔話「かぐや姫」も紹介します。



こども天文教室

★小学4年生以上を対象に、テーマごとの天文の話題を少しづつ解説するプラネタリウムです。
どなたでもご参加いただけます。

☆10/26(土)☆9:50~

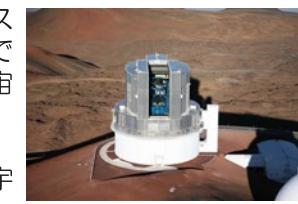
テーマ：土星の観察

11月の一般投影

すばる望遠鏡が見つめる宇宙

すばる望遠鏡は、国立天文台がハワイのマウナケア山に設置した、口径8.2メートルの大型望遠鏡です。すばる望遠鏡は、1999年1月にファーストライトを行いました。これまで進化を続けながら、最前線で宇宙を深く覗いてきた望遠鏡です。

今年はすばる望遠鏡25周年。すばる望遠鏡の歴史とともに、宇宙の姿をご紹介します。



すばる望遠鏡 © 国立天文台

特別展のご案内

~10/14(月・祝)

夏休み・児童生徒作品展

中学生が、夏休みに制作した理科自由研究などの作品を展示します。

10/19(土)~12/1(日)

SSP(日本自然科学写真協会)展「自然を楽しむ科学の眼」

日本自然科学写真協会(SSP)は自然科学写真にたずさわるプロ及びアマチュアの写真人の集まりです。生き物や天体、風景など、ミクロからマクロまでの世界を科学の視点で撮影した自然科学写真を展示します。



時と宇宙の博物館

明石市立天文科学館

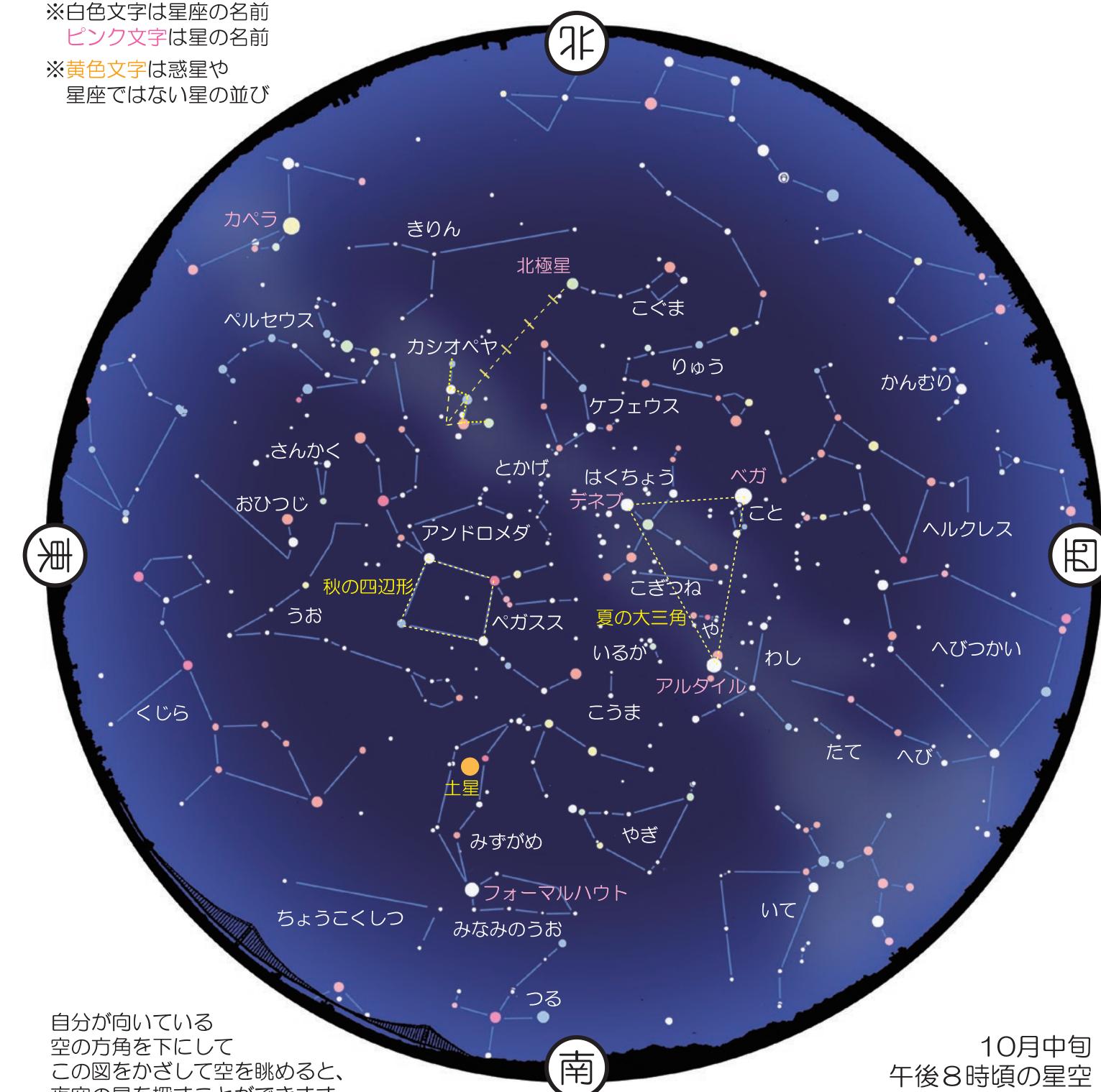
2024年10月の星空

※白色文字は星座の名前

ピンク文字は星の名前

※黄色文字は惑星や

星座ではない星の並び



午後8時頃の星空

自分が向いている
空の方角を下にして
この図をかざして空を眺めると、
夜空の星を探すことができます。

空高くに「秋の四辺形」が昇ってきました。「秋の四辺形」の近くには、ペガスス座、アンドロメダ座、カシオペヤ座など、ギリシャ神話のエチオピア王家の物語に登場する星座があります。

「秋の四辺形」の二つの星をつないで北の方へ伸ばした先、北東の空に見えるアルファベットの「W」の星の並びがカシオペヤ座です。カシオペヤ座のWの外側の2つの星をそれぞれつないで伸ばし、線が交わったところと、真ん中の星との間の距離を、Wが広がっている方向へ5倍伸ばすと、北極星が見つかります。

10月の月の暦

- 3日 ● 朔(新月)
- 11日 ● 上弦
- 17日 ● 望(満月)
- 24日 ● 下弦

10月の日の出・入(明石)

- | 日の出 | 日の入 |
|----------|-------|
| 1日 5:55 | 17:44 |
| 15日 6:06 | 17:25 |
| 30日 6:19 | 17:08 |

10月の天文現象

- 3日 南太平洋・南米南部で金環日食(日本では見られない)
- 5日 月と金星が並ぶ
- 8日 寒露
- 8日 りゅう座(10月)流星群
- 14日 月と土星が並ぶ
- 17日 2024年最大の満月
- 21日 月と木星が並ぶ
- 21日 オリオン座流星群が極大
- 23日 霜降
- 23日 月と火星が並ぶ

11月の天文現象

- 2日 おうし座南流星群が極大
- 5日 月と金星が並ぶ
- 7日 立冬
- 11日 月と土星が並ぶ
- 12日 おうし座北流星群が極大
- 16日 水星が東方最大離角
- 17日 月と木星が並ぶ
- 17日 天王星が衝
- 17日 しし座流星群が極大
- 20日 月と火星が並ぶ
- 22日 小雪